

企画総務委員会

送付 20 - 18

富士見福社会館に関する陳情

受付年月日 平成 20 年 11 月 21 日

陳 情 者 千代田区富士見二丁目三番一号
富士見二丁目町会
会 長 高 梨 幸 彦 (他 575 名)

陳情書

私たちが暮らす富士見・飯田橋地区は住居と店舗、学校と事業所が混在する街で、生活圏としては珍しく、交通の便にも恵まれております。

当地区におきましては、最近まちづくり機運が高まり、飯田橋駅周辺の再開発が活発になりました。こうした動向は、富士見・飯田橋地区全体の刺激剤になっています。

私たちは、当地区におけるまちづくりが、単純に「高層ビルを建てるだけ」ということにはならないことを願っております。再開発が行われる際は、これまでの街の構成に配慮しつつ、住居・店舗・事業所などがバランスよく配置され、新たな魅力も加わり、地域の発展に寄与されることを望んでおります。

さて、当地区内には「千代田区立富士見福社会館」があります。昭和48年に当地区に置かれ、私たちは長い間、当施設を見守って参りました。その「千代田区立富士見福社会館」機能が、平成22年には神田駿河台に移転される予定と伺っております。

移転後の用地活用方法は、まだ決まっていないと、聞き及んでおります。しかし、巷では売却するのではないかとといった声を始めとした、様々な風聞が飛び交っており、地元住民の不安をかきたてております。

「千代田区立富士見福社会館」は、当地区の商店街の中心にあります。そのため、移転後の用地の活用方法は、地区全体に大きな影響を与えます。私たちは、当用地の活用を、地区のまちづくり全体に貢献できるものにしていただきたいと思います。

こうした地元区民の事情をご高察いただき、千代田区議会におかれまして、周辺まちづくりと連動した当該用地の活用に向け、ご議論くださるよう陳情いたします。

平成20年11月21日

千代田区議会議長 高山はじめ 殿